

授業計画（シラバス）

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	キャリアデザイン	単位数	前期 後期	2
指導目標	個々が持つ職業観、労働観をより具体的にし、国際人として活躍できるように、キャリアデザインを学ぶ。また、日本の就職活動を具体的に理解し、その準備を進めるとともに自らのキャリアを描けるようにする。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指導内容										
回数	前期					回数	後期			
1	1-1日本の雇用環境 1-2留学生の日本企業への就職事情 1-3日本企業が求める留学生とは					1				
2	1-4留学生OB・OGから見た就職活動 1-5日本の採用文化 1-6就職活動のスケジュールと準備					2				
3	1-7日本で就職するためには 2-1キャリアとは 2-2内的キャリア 2-3外的キャリア					3				
4	3-1自己分析とは 3-2人生曲線 3-3自分史					4				
5	3-4自分史の分析 3-5ジョハリの窓 3-6コンピテンシー					5				
6	4-1死ぬまでにしたいこと 4-2未来史 4-3日本の良いところ・悪いところ 4-4日本との関係表					6				
7	4-5自己分析のまとめ 5-1業界・企業研究とは 5-2業界研究の視点					7				
8	5-3企業研究の視点 5-4職種研究とは					8				
9	5-5日本企業の雇用形態 5-6業界研究の方法 5-7気になる業界を調べる					9				
10	〃					10				
11	5-8業界のつながり 5-9周辺の業界を調べる 6-1企業研究の方法					11				
12	〃					12				
13	6-2インターンシップ 6-3OB・OG訪問 6-4プレエントリー					13				
14	〃					14				
15	6-5会社説明会・セミナー 7-1企業を選ぶ6つの視点 7-26つの視点で調査する					15				
16	〃					16				
17	7-53C分析 7-6企業研究のまとめ					17				
18	7-7企業研究のまとめ					18				
備考	使用教科書：改訂版「留学生のための就職内定ワークブック」									

[illegible]

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	ビジネスマナーⅡ	単位数	前期	
								後期		2
指導目標	就職活動や就職後に必要なビジネスマナーを学び、身につけることによって学生が日本社会で円滑に人間関係を築けるように指導する。 後期はビジネス日本語の授業とも連携してビジネス文書・電話対応についても学ぶ。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指導内容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	第2章-1 目標を立てて効率よく仕事を進める			
2						2	第2章-2 効率的に仕事を進める			
3						3	第2章-2 効率的に仕事を進める 第2章-3 出社時のマナー コンビニの日本語 12課 「10分ぐらい遅刻しそうです」			
4						4	〃			
5						5	第5章-1・2 ビジネス文書の基本 社内文書の基本			
6						6	第5章-3 社外文書の基本			
7						7	第2章-4 離席時・外出時のマナー			
8						8	第2章-5 退社時のマナー			
9						9	第3章-1・2 電話の基本マナー 好感をもたれる電話の受け方			
10						10	〃			
11						11	第3章-3・4 好感をもたれる電話のかけ方 不在者宛ての電話への対応			
12						12	〃			
13						13	第3章5 用件が確実に伝わる伝言 ケーススタディ			
14						14	第2章-6 休暇・残業・休日のマナー			
15						15	第2章-8 公私の区別と守秘義務			
16						16	第2章-9 勤務時間外のつきあい方			
17						17	テストフィードバック			
18						18				
備考	使用教科書： プリント対応 ・ビジネスマナー基本テキスト ・コンビニの日本語									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	講義	科目	ビジネス実務	単位数	前期 後期	2
指導目標	就職すると今まで以上に年代、文化、考え方の異なるいろいろな人に会うことになる。社会に出て困らないように異文化理解をはじめ、ハラスメント、マイクロアグレッションなどを理解し行動できるよう指導する。日本のルールを知ることによって気持ちよく日本の企業で働けるようにしたい。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1	第1章-1 研修があると行われましたが					1				
2	第1章-1 研修があるといわれましたがコンビニの日本語3課 志望動機を教えてください					2				
3	第1章-6 何でもチームといわれますが第2章-4 あいさつ					3				
4	〃					4				
5	第2章-4 あいさつコンビニの日本語4課 今日から働くことになりました					5				
6	第3章-3 注意を受けたとき					6				
7	〃					7				
8	第3章-4 注意を受けたときあコンビニの日本語19課 ご迷惑をおかけしました					8				
9	第5章-2 話し言葉と書き言葉					9				
10	〃					10				
11	第5章-2 話し言葉と書き言葉コンビニの日本語22課 掃除の仕方を教えます					11				
12	第5章-3 パソコンで入力したのですが					12				
13	第5章-3 パソコンで入力したのですがコンビニの日本語7課 わかる者を呼んでまいります					13				
14	第5章-5 お客様に手紙を書くことになりましたが					14				
15	第5章-6 お客様に手紙を書くことになりましたがコンビニの日本語10課 在庫を確認してまいります					15				
16	コンビニの日本語22課店長になりたいです					16				
17	テスト対策					17				
18	テストフィードバック 社会保障制度					18				
備考	使用教科書： 留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール コンビニの日本語									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分		講義	科目	就職活動計画	単位数	前期	
										後期	2
指導目標	留学生が日本の就職活動、とくに日本と海外の就職活動の違いを理解し、就職活動に必要な準備や対策を具体的に指導し、できるだけ早く就職活動に取り組み、日本で就職に成功出来るようにする。										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指　導　内　容											
回数	前　期						回数	後　期			
1							1	7-8 志望業界とその理由 8-1 エントリーシートとは			
2							2	8-2 履歴書（1）			
3							3	8-2 履歴書（2）			
4							4	8-2 履歴書（3）			
5							5	8-2 履歴書（4）			
6							6	8-3 メールのマナー			
7							7	8-4 手紙のマナー			
8							8	9-1 エントリーシートのポイント			
9							9	9-2 学生時代に力を入れたこと 9-3 学生時代に力を入れたことの作成			
10							10	〃			
11							11	9-5 自己PR 9-6 自己PRの作成			
12							12	〃			
13							13	9-8 志望動機 9-9 志望動機の作成			
14							14	〃			
15							15	11-1 面接 11-2 WEB（オンライン）面接			
16							16	11-4 面接の可否を分ける第一印象 11-5 服装のマナー			
17							17	11-8 面接の手順とマナー 11-9 面接で聞かれる質問			
18							18				
備考	使用教科書：改訂版「留学生のための就職内定ワークブック」										

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	TOEIC対策 I	単位数	前期 後期	2
指導目標	本授業では各自が今まで習得した英語知識（語彙、文法、発音）を再復習しながら、英語の基礎力の基盤構築を目指します。又　英語のみならず、日本語習得にも役に立つと考えられている学習法を取り入れながらTOEIC受験を目指します。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指　　　導　　　内　　　容										
回数	前　　期						回数	後　　期		
1	自己紹介、及び授業の進め方説明。Unit 1 Listening演習中心						1			
2	Unit1 Grammar&Reading 演習中心						2			
3	Unsit 2 Listening Section 演習中心						3			
4	Unit2 Reading Section演習中心						4			
5	Unit3 Listening演習中心						5			
6	Unit3 Reading 演習中心						6			
7	Unit4 Listeing演習中心						7			
8	Unit4 Reading演習中心						8			
9	Unit5 Listening演習中心						9			
10	"						10			
11	Unit5 Reading 演習中心						11			
12	"						12			
13	Unit6 Listeing 演習中心						13			
14	"						14			
15	Unit6 Reading 演習中心						15			
16	"						16			
17	期末テスト対策						17			
18	期末テスト結果 Feedback						18			
備考	使用教科書：START-UP COURSE FOR TOEIC L&R TEST									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	TOEIC対策Ⅱ	単位数	前期	
									後期	2
指導目標	本授業では各自が今まで習得した英語知識（語彙、文法、発音）を再復習しながら、英語の基礎力の基盤構築を目指します。又　英語のみならず、日本語習得にも役に立つと考えられている学習法を取り入れながらTOEIC受験を目指します。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指　　　導　　　内　　　容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	授業の進め方説明。Unit 7 Listening演習中心			
2						2	Unit 7 Reading section 演習中心			
3						3	Unit 8 Listening Section 演習中心			
4						4	Unit 8 Reading Section 演習中心			
5						5	Unit 9 Listening section 演習中心			
6						6	Unit 9 Reading Section 演習中心			
7						7	Unit 10 Listening Section 演習中心			
8						8	"			
9						9	Unit 10 Reading Section 演習中心			
10						10	"			
11						11	Unit 11 Listening Section 演習中心			
12						12	"			
13						13	Unit 11 Reading Section 演習中心			
14						14	"			
15						15	Unit7～11まで総復習 及び 期末テスト対策			
16						16	期末テスト対策			
17						17	期末テスト結果 Feedback			
18						18				
備考	使用教科書：START-UP COURSE FOR TOEIC L&R TEST									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	英会話 I	単位数	前期 後期	2
指導目標	英語でのコミュニケーションを図る									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1	自己紹介、及び授業の進め方説明。Unit 1					1				
2	Unit 2					2				
3	Unit 3					3				
4	Unit 4					4				
5	TEST					5				
6	Unit 5					6				
7	Unit 6					7				
8	Unit 7					8				
9	TEST					9				
10	Unit 8					10				
11	"					11				
12	Unit 9					12				
13	"					13				
14	TEST					14				
15	Unit 10					15				
16	"					16				
17	Unit 11					17				
18	"					18				
備考	使用教科書：MARKET LEADER									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	英会話Ⅱ	単位数	前期	
									後期	2
指導目標	英語でのコミュニケーションを図る									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	Unit 7			
2						2	"			
3						3	Unit 8			
4						4	"			
5						5	TEST			
6						6	Unit 9			
7						7	"			
8						8	Unit 10			
9						9	"			
10						10	TEST			
11						11	Unit 10			
12						12	"			
13						13	Unit 11			
14						14	"			
15						15	TEST			
16						16	Unit 12			
17						17	"			
18						18				
備考	使用教科書：MARKET LEADER									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	ビジネス日本語（BJT）Ⅰ	単位数	前期	2
									後期	
指導目標	BJTの問題を学習し、ビジネスの知識と日本の商習慣を習得する。 テキストを使い、就職までの流れを学習する。ウチソトの関係を知り敬語の使い分けができるようにする。 ビジネス会話やストラテジーを学び、会話練習をすることでビジネス場面でのコミュニケーション力をつける。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1	BJT 聴解セクション1 1～6 RP Unit1 就活の準備 1課インターンシップ情報を得る モデル会話					1				
2	BJT 聴解セクション1 7～10 RP 1課インターンシップ情報を得る 文型表現					2				
3	BJT 読解セクション1 1～5 RP 1課インターンシップ情報を得る タスク1・3 性格を表す表現					3				
4	BJT 読解セクション1 6～10 RP 2課 モデル会話 文型表現					4				
5	BJT 聴解セクション2 1～6 ウチソトの関係 RP 2課 タスク1					5				
6	BJT 聴解セクション2 7～10 RP 2課 タスク2・3 ケーススタディ1					6				
7	BJT 聴読解セクション1 1～4 RP Unit2 インターンシップ 3課 モデル会話					7				
8	BJT 読解セクション3 1・2 RP 3課 文型表現					8				
9	BJT 聴解セクション3 1・2 RP 3課 タスク					9				
10	〃					10				
11	BJT 聴読解セクション1 5・6 RP 4課 モデル会話 文型表現					11				
12	〃					12				
13	BJT 読解セクション3 3・4 RP 4課 タスク					13				
14	〃					14				
15	BJT 聴読解セクション1 7・8 RP 4課 タスク					15				
16	〃					16				
17	BJT 読解セクション3 5・6 RP テスト対策					17				
18	テストフィードバック ケーススタディ2					18				
備考	使用教科書：ロールプレイで学ぶビジネス日本語（中級） 参考教材：ビジネス日本語能力テスト体験テストと解説（コピー対応）									

学科 学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	ビジネス日本語（BJT）Ⅱ	単 位 数	前期	2
									後期	
指導 目標	BJTの問題を学習し、ビジネスの知識と日本の商習慣を習得する。 テキストを使い、就職までの流れを学習する。ウチソトの関係を知り敬語の使い分けができるようになる。 ビジネス会話やストラテジーを学び、会話練習をすることでビジネス場面でのコミュニケーション力をつける。									
評価 方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	BJT 読解セクション2 1～5 RP Unit3 面接を受ける 5課 面接を受ける 1 モデル会話 文型・表現 1			
2						2	BJT 読解セクション2 6～10 RP 5課 面接を受ける 1 文型表現1～3			
3						3	BJT 聴解セクション3 3・4 RP 5課 面接を受ける 1 タスク1 6課 面接を受ける2 モデル会話 文型・表現1			
4						4	BJT 聴読解セクション1 7・8 RP 6課 面接を受ける2 文型表現 タスク ケーススタディ			
5						5	BJT 読解オリジナル1 RP Unit4 初めての仕事 7課 報告書を書く モデル会話 文型・表現			
6						6	BJT 聴解セクション3 5・6 RP 7課 報告書を書く 文型・表現 タスク			
7						7	BJT 読解セクション3 7・8 RP 8課 データをまとめる モデル会話 文型・表現			
8						8	BJT 聴読解セクション1 9・10 RP 8課 文型表現 タスク			
9						9	BJT 読解オリジナル2 RP Unit5 電話対応 9課 電話を取り次ぐ モデル会話			
10						10	BJT 聴読解セクション1 11～13 RP 9課 電話を取り次ぐ 文型表現 タスク			
11						11	〃			
12						12	BJT 読解セクション3 9・10 RP 10課 伝言を受ける モデル会話 文型・表現			
13						13	〃			
14						14	BJT 読解オリジナル3 RP 10課 伝言を受ける 文型・表現 タスク			
15						15	〃			
16						16	BJT テスト対策 RP テスト対策 10課 タスク			
17						17	テストフィードバック 伝言メモ			
18						18				
備 考	使用教科書：ロールプレイで学ぶビジネス日本語（中級） 参考教材：ビジネス日本語能力テスト体験テストと解説（コピー対応）									

学 科	ブリッジエンジニア科	学 年	2	区 分	講義	科 目	ビジネス日本語（BJT）Ⅲ	単 位 数	前期	2
									後期	
指 導 目 標	BJTの問題を練習し、ビジネスの知識を身に着ける。 ロールプレイで学ぶビジネス日本語では、ビジネス場面で円滑なコミュニケーションがとれるように 文型・表現やストラテジーを学ぶ。口頭練習を増やし、会話になれるようにする。									
評 価 方 法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1	BJT 聴解セクション1 RP Unit6 社外の交渉 11課 アボを取る 文型・表現 1					1				
2	BJT 聴解セクション1 RP 11課 アボを取る 文型・表現3 タスク1					2				
3	BJT 聴読解セクション1 1～4 RP 11課 アボを取る タスク					3				
4	BJT 読解セクション1 RP 12課謝罪をする 文型・表現1・2					4				
5	BJT 聴解セクション2 RP 12課謝罪をする 文型・表現3 謝罪のストラテジー タスク					5				
6	BJT 聴解セクション2 RP 12課 タスク					6				
7	BJT 聴読解セクション1 Unit7 社内の交渉 RP 13課 誘いを断る 文型・表現1					7				
8	BJT 読解セクション2 RP 13課 誘いを断る 文型・表現					8				
9	BJT 聴読解セクション2 読解オリジナル4 RP 13課 タスク					9				
10	"					10				
11	BJT 読解セクション3 RP 14課 許可を得る 文型・表現					11				
12	"					12				
13	BJT 聴読解セクション2 読解オリジナル5 RP 14課 許可を得る タスク					13				
14	"					14				
15	BJT 読解オリジナル6・7 RP 14課 許可を得る オリジナルタスク					15				
16	"					16				
17	BJT 読解オリジナル8 RP テスト対策					17				
18	テストフィードバック ケーススタディ7					18				
備 考	使用教科書：ロールプレイで学ぶビジネス日本語 コピー対応「ビジネス日本語能力テスト公式ガイド」「BJT実力養成問題集（聴解・聴読解）」									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	日本語コミュニケーションⅠ	単位数	前期 後期	4
指導目標	12月にN2あと一歩だった学生およびN2保持者でのクラス構成となるため、7月まではN2合格を目指し、演習量を増やして全員がN2合格を目指す。N2保持者で7月および12月にN1受験予定者については、パワードリル宿題などでN1に触れさせるようにする。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1	授業オリエンテーション&クラス分け判別テスト 【文法】第1回【聴解】ドリドリ課題理解					1				
2	【文字語彙】第1回、【読解】必修パターン 【文法】第2回 【聴解】ドリドリ課題理解					2				
3	【文字語彙】第2回、【読解】必修パターン 【文法】第3回 【聴解】ドリドリポイント理解					3				
4	【文字語彙】第3回、【読解】必修パターンn 【文法】第4回 【聴解】ドリドリポイント理解					4				
5	【文字語彙】第4回、【読解】必修パターン 【文法】第5回 【聴解】ドリドリ概要理解					5				
6	〃					6				
7	【文字語彙】第5回、【読解】必修パターン 【文法】第6回 【聴解】ドリドリ概要理解					7				
8	〃					8				
9	【文字語彙】第6回、【読解】必修パターン 模擬試験（文法、聴解）					9				
10	模擬試験（語彙、読解） 模試FB					10				
11	模試FB 【文法】第7回、【聴解】ドリドリ即時応答					11				
12	模擬試験（語彙、読解） 模擬試験（文法、聴解）					12				
13	模試FB 模試FB					13				
14	【文字語彙】第7回、【読解】必修パターン 【文法】第8回 【聴解】ドリドリ即時応答					14				
15	〃					15				
16	期末試験対策 聴解期末試験（2組と同時実施）					16				
17	期末試験対策 期末試験対策					17				
18	【文字語彙】第8回、【文法】第9回 最終振り返り					18				
備考	使用教科書：【文字語彙】ドリドリN2文字語彙、【読解】必修パターンN2読解、【文法】直前対策N2、【聴解】必修パターンN2聴解&ドリドリN2聴解									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	日本語コミュニケーションⅡ	単位数	前期	
									後期	2
指導目標	12月にN2あと一歩だった学生およびN2保持者でのクラス構成となるため、7月まではN2合格を目指し、演習量を増やして全員がN2合格を目指す。N2保持者で7月および12月にN1受験予定者については、パワードリル宿題などでN1に触れさせるようにする。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指導内容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	N2文字語彙⑪／文法宿題⑪配布 N1文字語彙①／文法導入① N1読解短文①			
2						2	N1文字語彙／文法テスト N2文字語彙⑫／文法⑫宿題配布＋前回宿題FB N1文字語彙②／文法導入②			
3						3	N1文字語彙／文法テスト N2文字語彙⑬／文法⑬宿題配布＋前回宿題FB N1文字語彙③／文法導入③			
4						4	N1文字語彙／文法テスト N2文字語彙⑭／文法⑭宿題配布＋前回宿題FB N1文字語彙④／文法導入④			
5						5	N1文字語彙／文法テスト N2文字語彙⑮／文法⑮宿題配布＋前回宿題FB N1文字語彙⑤／文法導入⑤			
6						6	N1既習文法（1-4 課）演習問題 N1聴解演習＋読解問題 N2文字語彙⑥／文法⑥宿題配布＋前回宿題FB			
7						7	確認テストなし N2文字語彙⑦／文法⑦宿題配布＋前回宿題FB N1文字語彙⑥／文法導入⑥＋読解			
8						8	”			
9						9	N1文字語彙／文法テスト N2文字語彙⑧／文法⑧宿題配布＋前回宿題FB N1文字語彙⑦／文法⑦			
10						10	”			
11						11	N1文字語彙／文法テスト N2文字語彙⑨／文法⑨宿題配布＋前回宿題FB N1語彙⑧／N1文法⑧＋既習文法（1-8課）演習プリント			
12						12	”			
13						13	N1文字語彙／文法テスト N1文字語彙⑨／文法⑨ N2宿題FB ※N2宿題はここからは無し			
14						14	”			
15						15	N1文字語彙／文法テスト 期末試験対策orN1聴解練習			
16						16	N1聴解試験			
17						17	期末試験対策			
18						18				
備考	使用教科書：【文字語彙】ドリドリN2文字語彙、【読解】必修パターンN2読解、【文法】直前対策N2、【聴解】必修パターンN2聴解&ドリドリN2聴解									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	講義	科目	日本語コミュニケーションⅢ	単位数	前期 後期	2
指導目標	文字語彙は、「総まとめ」を使い、毎回1週分の問題をやり定着を図る。文法はテキストの残りを理解を保めながら進めたい。その後、文字語彙と文法はできるだけドリル練習を行う。読解はウォーミングアップで基礎を固めつつ、問題にも取り組む。自分で勉強する意識づけをする。④わかりやすいプレゼンテーションができるようになることを目標とする。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指導内容										
回数	前期					回数	後期			
1	漢字・語彙第1週 文法Unit7-1 読解WU1 1回で合格1-4 言い換えに着目する					1				
2	漢字・語彙第2週 文法Unit7-1・2 読解WU2 1回で合格1-4 1-6 理由を確認する					2				
3	漢字・語彙第3週 文法Unit7-2 ドリルC 読解WU3 1回で合格1-7 対比・比喻					3				
4	漢字・語彙第4週 文法Unit8-1 聴解 即時応答					4				
5	漢字・語彙第5週 文法Unit8-1・2 読解WU 4 1-8 二つの文章を比較する					5				
6	漢字・語彙第6週 文法Unit8-2 ドリルC 読解WU5 3-1 表を含む文章					6				
7	漢字・語彙第7週 文法オリジナルプリント 読解WU6 3-3 新聞記事を含む文章					7				
8	模試					8				
9	模試					9				
10	模試					10				
11	模試					11				
12	模試					12				
13	模試					13				
14	模試					14				
15	模試					15				
16	文字語彙・文法 テスト対策 読解WU7・8 3-3 新聞記事を含む文章 3-7 ポスター・チラシなど					16				
17	聴解テスト					17				
18	テストフィードバック					18				
備考	使用教科書： 日本語総まとめ漢字・語彙N2 N2文法スピードマスター 必ずできる読解N2 1回で合格日本語能力試験読解N2 ドリル&ドリル聴解N2									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	建築概論Ⅰ	単位数	前期 後期	2
指導目標	建築に関する不可欠な知識を全般的に習得する。前期は、木構造を中心に構造の仕組みを、また構造模型の作成により、木構造を理解させる。後期は、前半に建築製図を集中講義形式でRC造の図面を実施する。後半の7回で基本的なRC造、S造の仕組みを講義する。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1	ガイダンス「1年間の学び」を説明					1				
2	建築構造の特徴（木造・ＲＣ造・Ｓ造）					2				
3	建物に働く力（荷重・外力・応力）					3				
4	基礎構造（布基礎・べた基礎）					4				
5	軸組：土台・柱・筋かい					5				
6	床組：根太・大引					6				
7	軸組：胴差・軒桁					7				
8	小屋組：母屋・垂木・棟木					8				
9	木造軸組模型（１）基礎・1階床組（土台・床束）					9				
10	〃					10				
11	木造軸組模型（２）1階床組・1階軸組					11				
12	〃					12				
13	木造軸組模型（３）1階軸組（間柱・筋かい・窓）					13				
14	〃					14				
15	木造軸組模型（４）2階床組・軸組（間柱・筋かい）					15				
16	〃					16				
17	木造軸組模型（５）小屋組（小屋梁・母屋・垂木）					17				
18	〃					18				
備考	使用教科書：プリント教材									

[illegible]

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	プログラミング概論Ⅰ	単位数	前期 後期	2
指導目標	前期：プログラミング・アルゴリズムの基本的な考え方を習得する。 後期：VBAを使い、プログラミングの基礎理論を習得する。 前期後期：AI・IoT・ロボット工学など最先端技術も案内する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1	コンピュータ処理の流れ アルゴリズム					1				
2	順次処理・条件分岐・繰り返し					2				
3	変数・配列・乱数					3				
4	ユーザ入力					4				
5	関数					5				
6	自動販売機のアルゴリズム					6				
7	ゲームの企画とアルゴリズム					7				
8	〃					8				
9	アプリの企画とアルゴリズム					9				
10	〃					10				
11	探索（線形探索・二分探索）					11				
12	さまざまなアルゴリズム					12				
13	〃					13				
14	ロボット工学入門 センサとアクチュエータ					14				
15	ITパスポート過去問演習（テクノロジー）					15				
16	ITパスポート過去問演習（テクノロジー）					16				
17	ITパスポート過去問演習（テクノロジー）					17				
18	総復習					18				
備考	使用教科書：やさしい日本語・情報処理とプログラミング									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	講義	科目	プログラミング概論Ⅱ	単位数	前期	
									後期	2
指導目標	前期：プログラミング・アルゴリズムの基本的な考え方を習得する。 後期：VBAを使い、プログラミングの基礎理論を習得する。 前期後期：AI・IoT・ロボット工学など最先端技術も案内する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	前期の復習 情報学に必要な知識			
2						2	HTMLの復習			
3						3	HTMLコーディング			
4						4	HTMLコーディング			
5						5	HTMLコーディング			
6						6	ロボット工学演習 センサー・アクチュエーター			
7						7	センサーの活用			
8						8	VBAによるプログラミング コードの記述・変数			
9						9	VBAによるプログラミング コードの記述・変数			
10						10	VBAによるプログラミング 条件分岐			
11						11	VBAによるプログラミング 条件分岐			
12						12	VBAによるプログラミング 繰り返し処理			
13						13	VBAによるプログラミング オブジェクトの操作			
14						14	VBAによるプログラミング 組み込み関数			
15						15	VBAによるプログラミング 組み込み関数			
16						16	期末試験対策			
17						17	総復習			
18						18				
備考	使用教科書：やさしい日本語・情報処理とプログラミング									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	講義	科目	機械工学基礎	単位数	前期 後期	2
指導目標	JISに基づく製図の基礎について理解すると共に機械要素、加工、力学をはじめとする機械工学の基本を習得することを目的とする。また、AutoCADを用いてより実践的な機械図面の作図スキルを身につける。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1	用紙と輪郭線・表題欄、角度とその考え方、金属材料									
2	金属材料とその表記、応力について									
3	製図の基本（規格、線の種類と表現、尺度）									
4	製図の基本（投影法と第三角法）									
5	製図の基本（様々な投影法、断面図）									
6	機械要素（ねじ、歯車、軸受など）									
7	寸法公差とはめあい									
8	表面粗さとその表現方法									
9	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）									
10	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）									
11	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）									
12	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）									
13	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）									
14	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）									
15	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）									
16	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）									
17	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）									
18	総合演習									
備考	使用教科書： 1 から始めるAutoCAD JISによる機械製図と機械設計									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	演習	科目	ITリテラシー演習 I	単位数	前期 後期	2
指導目標	Officeソフトを活用し、基本的なビジネス文書の作成、表計算を行えるようにする。 日本語の表現や、ビジネスに使われる用語や計算などの知識も併せて学習する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	情報を学ぶために必要な日本語 コンピュータ処理の流れ					1				
2	情報を学ぶために必要な日本語 コンピュータ処理の流れ					2				
3	日本語入力（ひらがな・カタカナ・記号）					3				
4	日本語入力（漢字変換・文節変換）					4				
5	Word：ビジネス文書の基本					5				
6	Word：ビジネス文書の基本					6				
7	Word：表の作成					7				
8	Word：オブジェクトの挿入					8				
9	Word：実践課題 ビジネス文書					9				
10	Word：実践課題 チラン作成					10				
11	Word 実践課題 企画書					11				
12	Word 実践課題 企画書					12				
13	情報処理技能検定過去問演習 4級					13				
14	情報処理技能検定過去問演習 4級					14				
15	情報処理技能検定過去問演習 3 級					15				
16	情報処理技能検定過去問演習 3 級					16				
17	評価試験					17				
18	制作演習発表					18				
備考	使用教科書：やさしい日本語・情報処理とプログラミング									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	演習	科目	ITリテラシー演習Ⅱ	単位数	前期	
									後期	2
指導目標	Officeソフトを活用し、基本的なビジネス文書の作成、表計算を行えるようにする。 日本語の表現や、ビジネスに使われる用語や計算などの知識も併せて学習する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	Excel:前期の復習・テキスト演習問題			
2						2	Excel:テキスト演習問題			
3						3	Excel:グラフ			
4						4	Excel:関数の活用 1			
5						5	Excel:関数の活用 2			
6						6	Excel:関数の活用 3			
7						7	Excel:関数の活用 4			
8						8	パワーポイント・基本操作			
9						9	パワーポイント・オブジェクトの挿入など			
10						10	パワーポイント・テキスト演習問題			
11						11	パワーポイント・テキスト演習問題			
12						12	パワーポイント制作演習 1			
13						13	パワーポイント制作演習 2			
14						14	パワーポイント制作演習 3			
15						15	パワーポイント制作演習 4			
16						16	表計算総復習			
17						17	表計算・評価試験・制作発表			
18						18				
備考	使用教科書：やさしい日本語・情報処理とプログラミング									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	グループワーク演習	単位数	前期 後期	2
指導目標	日本での就職、日本人と仕事をする上で起こりうるトラブルの事例を知り、お互いの気持ち、何が問題であったのかをよく考える機会を作る。就職後トラブルが起こっても問題の解決策を自ら模索できる力を身につけさせる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	授業の進め方 ①卒業生の体験談（前半）					1				
2	①卒業生の体験談（後半）＋ミニグループワーク（バースデーライン）					2				
3	グループワーク演習（図形伝言ゲーム&伝言ゲーム）					3				
4	グループワーク演習（図形伝言ゲーム&伝言ゲーム）					4				
5	②ケース01 まだ9時半です（前半）					5				
6	②ケース01 まだ9時半です（後半）					6				
7	グループワーク演習（ペーパータワーorマシュマロチャレンジ）					7				
8	③ケース02私に任されたはずなのに（前半）					8				
9	③ケース02私に任されたはずなのに（後半）					9				
10	グループワーク演習（4コマ漫画）					10				
11	④ケース05ほう・れん・そう（前半）					11				
12	④ケース05ほう・れん・そう（後半）					12				
13	グループワーク演習（大縄）					13				
14	グループワーク演習（大縄）					14				
15	⑤ケース09変更はできません（前半）					15				
16	⑤ケース09変更はできません（後半）					16				
17	グループワーク演習（コンセンサスゲーム）					17				
18	グループワーク演習（コンセンサスゲーム）					18				
備考	使用教科書：ビジネスコミュニケーションのためのケース学習									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	演習	科目	プログラミング基礎演習 I	単位数	前期 後期	2
指導目標	HTML+CSSの基本的な記述を習得し、簡単なWebページを作成できるレベルを目指す。 テーマに沿った演習を実施し、クライアントの要求を実装できる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1	開発環境の整備（VS-CODE）HTMLの基礎知識					1				
2	HTMLの基本的なタグの記述					2				
3	画像やリンク、表の挿入					3				
4	CSSの基本的な記述					4				
5	CSSの基本的な記述 フレックスボックス					5				
6	CSSの基本的な記述 レスポンシブデザイン					6				
7	総復習・確認テスト					7				
8	制作演習 1					8				
9	制作演習 1					9				
10	制作演習 1					10				
11	制作演習 1					11				
12	制作演習 1 ・発表					12				
13	制作演習 2					13				
14	制作演習 2					14				
15	制作演習 2					15				
16	制作演習 2					16				
17	制作演習 2 ・発表					17				
18	Webクリエイター能力認定・模擬試験（スタンダード）					18				
備考	使用教科書： スラスラわかるHTML+CSS（ソフトバンク） オリジナル教材									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	演習	科目	プログラミング基礎演習Ⅱ	単位数	前期 後期	
指導目標	HTML+CSSの基本的な記述を習得し、簡単なWebページを作成できるレベルを目指す。 テーマに沿った演習を実施し、クライアントの要求を実装できる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	月日	前期				回数	後期			
1						1	前期の復習 情報学に必要な知識			
2						2	HTMLの復習			
3						3	HTMLコーディング演習			
4						4	HTMLコーディング演習			
5						5	ロボット工学演習 センサー・アクチュエーター			
6						6	センサーを活用したシステム開発			
7						7	VBAによるプログラミング コードの記述・変数			
8						8	VBAによるプログラミング 条件分岐			
9						9	VBAによるプログラミング 条件分岐			
10						10	VBAによるプログラミング 繰り返し処理			
11						11	VBAによるプログラミング オブジェクトの操作			
12						12	VBAによるプログラミング 組み込み関数			
13						13	制作演習			
14						14	制作演習			
15						15	制作演習			
16						16	制作演習			
17						17	制作演習・発表			
18						18				
備考	使用教科書： スラスラわかるHTML+CSS（ソフトバンク） オリジナル教材									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	プログラミング実践演習 I	単位数	前期 後期	4
指導目標	JavaScriptの基本的な記述ができる。 動的処理を組み込んだWebページを作成できる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1	JavaScript概論 基本的な記述JSを組み込んだWebサイト					1				
2	制作演習発表HTMLの書き換え					2				
3	JavaScriptの基本 1					3				
4	JavaScriptの基本 2					4				
5	イベントの操作 1					5				
6	イベントの操作 2					6				
7	複数のデータの使用 1					7				
8	複数のデータの使用 2					8				
9	アニメーション効果 1					9				
10	アニメーション効果 2					10				
11	We b ページへの実装 1					11				
12	We b ページへの実装 2					12				
13	制作演習					13				
14	制作演習					14				
15	制作演習					15				
16	制作演習					16				
17	総復習・確認テスト					17				
18	制作演習・発表					18				
備考	使用教科書：スラスラわかるHTML+CSS（ソフトバンク）									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	プログラミング実践演習Ⅱ	単位数	前期 後期	
指導目標	JavaScriptの基本的な記述ができる。 動的処理を組み込んだWebページを作成できる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	Python：前期の復習			
2						2	Python：数学の処理			
3						3	問題解決演習1.2職場での課題をプログラミングで解決			
4						4	問題解決演習3.4職場での課題をプログラミングで解決			
5						5	問題解決演習5.6職場での課題をプログラミングで解決			
6						6	データベース処理 SQLの基礎			
7						7	データベース処理 SQLの基礎			
8						8	Webアプリ開発 タスク管理アプリ 1			
9						9	Webアプリ開発 タスク管理アプリ 2			
10						10	卒業制作 1			
11						11	卒業制作 2			
12						12	卒業制作 3			
13						13	卒業制作 4			
14						14	卒業制作 5			
15						15	卒業制作 6			
16						16	卒業制作 7			
17						17	総復習・確認テスト 制作演習・発表			
18						18				
備考	使用教科書：スラスラわかるHTML+CSS（ソフトバンク）									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	オブジェクト指向プログラミング基礎演習Ⅰ	単位数	前期	4
									後期	
指導目標	Pythonの基本的な記述ができる。 簡単なアプリを作成できる。 サーティファイPythonプログラミング能力認定３級レベルを目指す。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1	Pythonの概略 基本的な記述					1				
2	変数の活用 ライブラリの活用制作演習					2				
3	変数の活用 ライブラリの活用制作演習					3				
4	配列とスライス制作演習					4				
5	条件分岐制作演習					5				
6	繰り返し処理制作演習					6				
7	関数制作演習					7				
8	コレクション制作演習					8				
9	モジュール制作演習					9				
10	ファイルの入出力制作演習					10				
11	例外処理制作演習					11				
12	クラストオブジェクト制作演習					12				
13	標準ライブラリ制作演習					13				
14	標準ライブラリ制作演習					14				
15	ゲームアプリ開発入門					15				
16	ゲームアプリ開発入門					16				
17	プログラミングに必要な基礎知識開発演習					17				
18	プログラミングに必要な基礎知識開発演習					18				
備考	使用教科書： オリジナルレジュメ+問題集 Python１年生（翔泳社） Python３ エンジニア 基礎試験問題集									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	オブジェクト指向プログラミング基礎演習Ⅱ	単位数	前期 後期	
										6
指導目標	Pythonの基本的な記述ができる。 簡単なアプリを作成できる。 サーティファイPythonプログラミング能力認定３級レベルを目指す。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	問題解決に必要なプログラミングの考案開発手法 開発演習 チーム発表			
2						2	問題解決に必要なプログラミングの考案QRコードの生成 変換ツールの作成			
3						3	情報用語と先端技術 1 PythonとExcelの連携 1			
4						4	情報用語と先端技術 2 PythonとExcelの連携 2			
5						5	情報用語と先端技術 3 PythonとExcelの連携 3			
6						6	情報用語と先端技術 4 PythonとExcelの連携 4			
7						7	情報用語と先端技術 5 Pythonとブラウザの連携 1			
8						8	情報用語と先端技術 6 Pythonとブラウザの連携 2			
9						9	情報用語と先端技術 7 卒業制作			
10						10	情報用語と先端技術 8 卒業制作			
11						11	情報用語と先端技術 9 卒業制作			
12						12	情報用語と先端技術 1 0 卒業制作			
13						13	情報用語と先端技術 1 1 卒業制作			
14						14	情報用語と先端技術 1 2 卒業制作			
15						15	情報用語と先端技術 1 3 卒業制作			
16						16	情報用語と先端技術 1 4 卒業制作			
17						17	情報用語と先端技術 1 5 卒業制作 制作発表（成績評価）			
18						18				
備考	使用教科書： オリジナルレジュメ+問題集 Python 1 年生（翔泳社） Python 3 エンジニア基礎試験問題集									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	演習	科目	建築製図演習Ⅰ	単位数	前期 後期	4
指導目標	木造およびＲＣ造の一般図（平面図・立面図・断面図）を写図することにより、製図技術や製図表現を習得する。建築図面を読み取る能力を身に付け、AutoCADによる建築図面作成につなげる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指　導　内　容										
回数	前　期						回数	後　期		
1	製図用具の説明・使い方「線の練習」						1			
2	「線の練習」「数字・文字の練習」						2			
3	「表示記号」 $S=1/100$ ・ $S=1/50$ で作図						3			
4	「木造平屋建住宅」平面図 $S=1/50$ で作図						4			
5	〃　　　　　平面図						5			
6	〃　　　Ａ－Ａ断面図						6			
7	〃　　　Ｂ－Ｂ断面図						7			
8	〃　　　西・南立面図						8			
9	木造軸組模型（１）基礎・１階床組（土台・床束）						9			
10	〃						10			
11	木造軸組模型（２）１階床組・１階軸組						11			
12	〃						12			
13	木造軸組模型（３）１階軸組（間柱・筋かい・窓）						13			
14	〃						14			
15	木造軸組模型（４）２階床組・軸組（間柱・筋かい）						15			
16	〃						16			
17	木造軸組模型（５）小屋組（小屋梁・母屋・垂木）						17			
18	木造軸組模型（５）小屋組（小屋梁・母屋・垂木）完成						18			
備考	使用教科書：「建築製図基本の基本」プリント教材、木造構造模型プリント及び材料・道具一式。後期は、鉄筋コンクリート造２階建て事務所的一般図（平面図・断面図・立面図）を写図する。後期は、自ら建築図面を読み取り製図できるようにする。図面の内容を理解したうえでAutoCADによる建築図面作成につなげる。 ※この科目は建築業界で実務を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	演習	科目	建築製図演習Ⅱ	単位数	前期 後期	2
指導目標	木造およびR C造の一般図（平面図・立面図・断面図）を写図することにより、製図技術や製図表現を習得する。建築図面を読み取る能力を身に付け、AutoCADによる建築図面作成につなげる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	初回授業は、後期で学習する鉄筋コンクリート造の基礎知識・構造計画を説明し、製図演習につなげる			
2						2	〃			
3						3	〃			
4						4	小規模RC造事務所ビル 平面図 S=1/50			
5						5	〃			
6						6	小規模RC造事務所ビル 断面図 S=1/50			
7						7	〃			
8						8	小規模RC造事務所ビル 立面図 S=1/50			
9						9	〃			
10						10	中規模RC造事務所ビル 平面図 S=1/50			
11						11	〃			
12						12	中規模RC造事務所ビル A-A断面図 S=1/50			
13						13	〃			
14						14	中規模RC造事務所ビル B-B断面図 S=1/50			
15						15	〃			
16						16	中規模RC造事務所ビル 東・南立面図 S=1/50			
17						17	〃			
18						18				
備考	使用教科書：「建築製図基本の基本」プリント教材、木造構造模型プリント及び材料・道具一式。後期は、鉄筋コンクリート造2階建て事務所の一般図（平面図・断面図・立面図）を写図する。後期は、自ら建築図面を読み取り製図できるようにする。図面の内容を理解したうえでAutoCADによる建築図面作成につなげる。 ※この科目は建築業界で実務を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	建築製図演習Ⅲ	単位数	前期 後期	2
指導目標	1) 作図の効率を上げる 2) 沢山の図面トレースを行い図面に慣れる 3) 整ったきれいな図面がかけられるように									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	木造住宅立面図/RC平面図（1年生からのつづき）					1				
2	木造住宅立面図/RC平面図（2年生からのつづき）					2				
3	断面図と南立面図/印刷					3				
4	断面図と南立面図/印刷					4				
5	断面図と南立面図/印刷					5				
6	断面図と南立面図/印刷					6				
7	断面図と南立面図/基礎伏図					7				
8	断面図と南立面図/基礎伏図					8				
9	断面図と南立面図/基礎伏図					9				
10	断面図と南立面図/基礎伏図					10				
11	小規模事務所ビル図面枠作成・レイヤー・線種・文字					11				
12	小規模事務所ビル 平面図壁芯・壁・柱					12				
13	小規模事務所ビル 平面図文字記入・通り芯記号・寸法記入					13				
14	小規模事務所ビル 平面図寸法線の間隔調整・個別に図面チェックバック					14				
15	小規模事務所ビル 平面図印刷→個別に図面チェックバック					15				
16	小規模事務所ビル 断面図					16				
17	小規模事務所ビル 断面図/立面図					17				
18	前期授業の調整日テキストの遅れている部分を実施					18				
備考	使用教科書：建築製図基本の基本/配布プリント									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	建築製図演習Ⅳ	単位数	前期	
									後期	2
指導目標	1) 作図の効率を上げる 2) 沢山の図面トレースを行い図面に慣れる 3) 整ったきれいな図面がかけられるように									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	RC事務所図面トレース平面図・断面図			
2						2	RC事務所図面トレース平面図・断面図			
3						3	RC事務所図面トレース平面図・断面図			
4						4	RC事務所図面トレース平面図・断面図			
5						5	RC事務所図面トレース平面図・断面図			
6						6	RC事務所図面トレース平面図・断面図			
7						7	フリーアクセスフロア事務所トレース平面・断面			
8						8	フリーアクセスフロア事務所トレース平面・断面			
9						9	フリーアクセスフロア事務所トレース平面・断面			
10						10	フリーアクセスフロア事務所トレース平面・断面			
11						11	フリーアクセスフロア事務所トレース断面・立面			
12						12	フリーアクセスフロア事務所トレース断面・立面			
13						13	フリーアクセスフロア事務所トレース断面・立面			
14						14	RC造3階建て平面図トレース			
15						15	RC造3階建て平面図トレース			
16						16	RC造4階建て平面図トレース			
17						17	RC造4階建て平面図トレース			
18						18				
備考	使用教科書：建築製図基本の基本/配布プリント									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	演習	科目	建築CAD演習 I	単位数	前期 後期	2
指導目標	CADシステムによる製図技術およびプレゼンテーション技術の習得 建築専門知識を深めること									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1	ネットワークとPC設定 AutoCAD初期設定					1				
2	ネットワークとPC設定 AutoCAD初期設定					2				
3	基本コマンド線分/円/削除					3				
4	画面拡大・縮小・オブジェクト範囲ズーム コマンドのオプション					4				
5	直行モード・極トラッキング・ オブジェクトスナップ/練習問題					5				
6	直行モード・極トラッキング・ オブジェクトスナップ/練習問題					6				
7	円・長方形・相対座標入力 座標の考え方					7				
8	作図・編集練習問題 OSNAP（四半円点・垂線・一時OSNAP）					8				
9	作図・編集練習問題 OSNAP（四半円点・垂線・一時OSNAP）					9				
10	交差選択・窓選択 移動・複写・直行モードの使い方					10				
11	回転・オフセット・鏡像 線分とポリライン・回転の基点とは・鏡像の対称軸とは					11				
12	トリム・延長・フィレット 切り取りエッジについて・フィレットのオプション					12				
13	練習問題 複写・移動・回転などのオプションの使い方					13				
14	練習問題 複写・移動・回転などのオプションの使い方					14				
15	文字記入・マルチテキスト コマンドエイリアスの復習					15				
16	前期試験について 出題範囲の復習					16				
17	前期試験（作図と編集８問）					17				
18	前期授業の調整日 テキストの遅れている部分を実施					18				
備考	使用教科書：はじめてのAutoCAD2024/2025作図と修正の操作がわかる本 ※この科目は建築業界で実務を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	1	区分	演習	科目	建築CAD演習Ⅱ	単位数	前期	
									後期	6
指導目標	CADシステムによる製図技術およびプレゼンテーション技術の習得 建築専門知識を深めること									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指導内容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	教科書Ch4-4練習問題 教科書Ch4-5ステップアップ問題 確認テスト 教科書Ch5 画層			
2						2	教科書Ch4-4練習問題 教科書Ch4-5ステップアップ問題 確認テスト 教科書Ch5 画層			
3						3	教科書Ch6-4～6-7 小規模な図面 壁芯、壁 寸法記入など			
4						4	教科書Ch6 小規模な図面 開口、階段、文字など PDFへ出力			
5						5	印刷の練習/三面図の書き方（平面/正面/側面） 三面図の練習問題			
6						6	印刷の練習/三面図の書き方（平面/正面/側面） 三面図の練習問題			
7						7	教科書P25～31レイヤーの説明 木造平屋平面図の作図/テンプレート配布			
8						8	テキストP31～34/ハッチング/寸法記入 家具や設備の部品データの配布			
9						9	P. 34平面図仕上げ P. 48－49平面・立面・断面→開口部の関連性について			
10						10	P53～57断面図の作図説明（平面図との関連性） 屋根購買の説明、断面図仕上げ（寸法と文字の記入）			
11						11	P. 58 A-A断面図仕上げ B－B断面図説明⇒印刷			
12						12	西・南・東立面図の作図			
13						13	西・南・東立面図の作図			
14						14	西・南・東立面図の作図			
15						15	西・南・東立面図の作図			
16						16	西・南・東立面図の作図 RC造平面図（テンプレート配布）			
17						17	西・南・東立面図の作図 RC造平面図			
18						18				
備考	使用教科書：はじめてのAutoCAD2024/2025作図と修正の操作がわかる本 ※この科目は建築業界で実務を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	建築CAD演習Ⅲ	単位数	前期	6
								後期		
指導目標	レビットの操作だけを覚えるのではなく、建築の仕事や建材など実務に使う内容を授業に取り入れていくのを目標にします。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1	・各自 ・自己紹介 ・卒業までに授業で作成する課題の説明 ・評価方法の説明 ・木造住宅のプロジェクトの作成					1				
2	・木造住宅のプロジェクトの作成					2				
3	・木造住宅のプロジェクトの作成					3				
4	・木造住宅のプロジェクトの作成 ・配布プリントや写真を使って木造の断面図や屋根、構造体を説明					4				
5	・S造(鉄骨造)のプロジェクトの作成					5				
6	・S造(鉄骨造)のプロジェクトの作成					6				
7	・S造(鉄骨造)のプロジェクトの作成					7				
8	・S造(鉄骨造)のプロジェクトの作成					8				
9	予備日					9				
10	・S造(鉄骨造)のプロジェクトの作成 ・配布プリントや写真を使ってS造の構造体の説明、よく使用される建材など説明する。					10				
11	・RCマンションのプロジェクトの作成					11				
12	・RCマンションのプロジェクトの作成					12				
13	・RCマンションのプロジェクトの作成					13				
14	・RCマンションのプロジェクトの作成					14				
15	・RCマンションのプロジェクトの作成					15				
16	・RCマンションのプロジェクトの作成					16				
17	・RCマンションのプロジェクトの作成					17				
18	・RCマンションのプロジェクトの作成、配布プリントや写真を使ってRCの構造体や建材の説明					18				
備考	使用教科書：配布プリント・説明様に作成したpdf資料・はじめてのRevit&Revit LT									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	建築CAD演習Ⅳ	単位数	前期	
									後期	6
指導目標	レビットの操作だけを覚えるのではなく、建築の仕事や建材など実務に使う内容を授業に取り入れていくのを目標にします。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	・Revitの3Dモデリングの為に、AutoCADでRC造事務所の平面図の作成。			
2						2	・Revitの3Dモデリングの為に、AutoCADでRC造事務所の平面図の作成と印刷。同断面図の作成。			
3						3	・RevitにAutoCADのRC造事務所の平面図を読み込み。			
4						4	・RevitにRC造事務所の柱、壁等を3D配置。			
5						5	・RevitにRC造事務所の窓、床等を3D配置。			
6						6	・RevitにRC造事務所のその他の3D要素を配置して完成。			
7						7	・前期作成途中のRCマンションのプロジェクトの完成。			
8						8	・矩計図の作成。			
9						9	・矩計図の作成。			
10						10	・卒業課題の説明。			
11						11	・卒業課題の制作。			
12						12	・卒業課題の制作。			
13						13	・卒業課題の制作。			
14						14	・卒業課題の制作。			
15						15	・卒業課題の制作。			
16						16	・卒業課題の制作完成。			
17						17	・卒業課題の発表。			
18						18				
備考	使用教科書：配布プリント・説明様に作成したpdf資料・はじめてのRevit&RevitLT									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	機械CAD設計演習 I	単位数	前期 後期	2
指導目標	AutoCADを用いたCADソフトウェアによる図面作成スキルの習得を目的としています。具体的には、AutoCADの基本操作・基本設定について課題図面を作成しながら学習し基本技術の養成を行います。また、機械図面を用いて図面を作成すると共にその正確性についての検証・評価を行う等、より実践的な技術の習得を目指します。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1	AutoCADのインターフェース、テンプレート、画面操作、線分、削除、選択機能					1				
2	円、圆弧、オブジェクトスナップ、画層					2				
3	振り返り演習、デザインセンター、長方形、ポリゴン、分解					3				
4	オフセット、ハッチング、文字機能、トリム、延長					4				
5	フィレット、面取り、移動、複写、回転					5				
6	鏡像、尺度変更、ストレッチ、長さ変更、パターン化					6				
7	寸法機能、スタイル管理					7				
8	ブロック、属性定義、印刷機能					8				
9	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）					9				
10	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）					10				
11	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）					11				
12	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）					12				
13	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）					13				
14	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）					14				
15	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）					15				
16	機械図面作成演習（機械要素の作図演習）					16				
17	総合演習					17				
18	総合演習					18				
備考	使用教科書：1からはじめるAutoCAD、JISによる機械製図と機械設計									

[illegible]

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	NC旋盤プログラミング	単位数	前期 後期	
指導目標	Autodesk Inventorを用いた3Dモデリング技術の習得を目的としています。具体的には、Inventorの基本操作やモデリング手法を学びながら、3Dモデルの作成技術を身につけます。 さらに、3Dプリンタによる造形を見据え、出力に必要なデータ変換や造形条件について理解を深めます。最終的には、設定したテーマに基づき、3Dプリンタを用いて造形モデルを制作し、モデリングから出力までの一連の工程を実践的に学習します。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前期					回数	後期			
1						1	AutoCADによる機械図面の作成、および図面からのモデル形状理解			
2						2	AutoCADによる機械図面の作成、および図面からのモデル形状理解			
3						3	AutoCADによる機械図面の作成、および図面からのモデル形状理解			
4						4	AutoCADによる機械図面の作成、および図面からのモデル形状理解			
5						5	Inventorによる3Dモデリングの基本			
6						6	Inventorによる3Dモデリングの基本			
7						7	Inventorによる3Dモデリングの基本			
8						8	Inventorによる3Dモデリングの基本			
9						9	Inventorによる3Dモデリングの基本			
10						10	Inventorによる3Dモデリングの基本			
11						11	Inventorによる3Dモデリングおよび3Dプリンタ基礎			
12						12	Inventorによる3Dモデリングおよび3Dプリンタ基礎			
13						13	Inventorによる3Dモデリングおよび3Dプリンタ基礎			
14						14	3Dプリンタによる造形演習			
15						15	3Dプリンタによる造形演習			
16						16	3Dプリンタによる造形演習			
17						17	3Dプリンタによる造形演習			
18						18				
備考	使用教科書：１からはじめるInventor、JISによる機械製図と機械設計									

学科	ブリッジエンジニア科	学年	2	区分	演習	科目	卒業制作	単位数	前期	
									後期	2
指導目標	Inventor、Revitを駆使して作品をデザインする。3Dプリンターで印刷									
評価方法	授業への参加度・出席率・課題提出・学習態度により総合的に評価する。									
指導内容										
回数	前期						後期			
1						1	「卒業制作」とは（導入）			
2						2	テーマ発表、注意事項等（建築CAD演習授業内容の延長）			
3						3	デザインするうえでの注意点（サイズ、色等）			
4						4	脇先生の授業と連携してものをデザイン			
5						5	機械CAD演習（デザイン）PPT作成、原稿作成（PC使用）			
6						6	ミニ発表会（テーマ、コンセプト等）日本語の校正			
7						7	機械CAD演習（デザイン）PPT作成、原稿作成（PC使用）			
8						8	機械CAD演習（デザイン）PPT作成、原稿作成（PC使用）			
9						9	機械CAD演習（デザイン）PPT作成、原稿作成（PC使用）			
10						10	プログラミングアプリ（倉田先生と連携）PPT作成、原稿作成（PC使用）			
11						11	プログラミングアプリ（倉田先生と連携）PPT作成、原稿作成（PC使用）			
12						12	プログラミングアプリ（倉田先生と連携）PPT作成、原稿作成（PC使用）			
13						13	発表会			
14						14	発表会			
15						15	発表会			
16						16	発表者の選抜（3Dプリンターで印刷）			
17						17	発表者のリハーサル			
18						18				
備考	使用教科書：レジュメ PC、プロジェクター、モニターを使用する。									